

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

公益財団法人森永酪農振興協会

平成29年度事業報告

平成29年度の全国生乳生産は729万トン、前年比99.3%（参考：北海道100.6%、都府県97.8%）と2年連続の減産となりました。北海道の生乳生産は、牧草サイレージ等の自給飼料が品質、量ともに恵まれ、29年9月から前年を上回って推移し、2年振りの増産となりましたが、九州地方で8月に暑熱ストレスによる影響から96%台にまで落ち込むなど、都府県主産地での減産が目立ち、都府県の減産につながっています

また北海道の乳牛市場では、初妊牛価格が1頭90万円台と高値が恒常化しており、搾乳素牛の確保が困難な状態が続いており、生乳生産基盤への影響が懸念されます。一方で、Jミルクによる特別対策による後押し効果もあり、海外からの搾乳素牛（育成牛・初妊牛）の生体輸入が前年の約7倍となる2,522頭まで増加し、各地で育成牛確保の動きが盛んになるなど、生乳生産基盤強化の動きは本格化しています。

生乳需要については、飲用等向の生産量が3年連続で前年を上回り、全国実績で約407万トン、前年比100.5%となりました。一昨年のテレビの健康番組での報道により、低脂肪牛乳、成分調整牛乳の需要が増加したことが一因にありますが、消費者の健康意識の高まりによって、一年以上経った今でもこの需要が維持されています。その一方で、飲用向の最需要期である夏季においては、都府県の生乳生産がボトムとなる時期と重なり、こうした生乳需給のギャップを埋めるため、北海道からの道外移出生乳が増加しています。今年度は相次ぐ低気圧の発生によって、需要期の生乳海上輸送が複数回滞り、一部の量販店では牛乳の欠品が発生しました。都府県の減産に歯止めが掛からない状況の中、北海道生乳への依存度が高まったことで、飲用牛乳市場への安定供給について課題が浮き彫りとなりました。

また乳製品需要は、アイスクリームやチーズなどの市場が好調に推移しましたが、生乳生産が前年を下回ったことによって、脱脂粉乳・バター向への配乳が前年を下回り、全国実績で約150万トン、前年比96.9%となりました。チーズ向と生クリーム等向を加えた乳製品向でも前年を下回り、補給金限度数量に対して28万トンの未達となりました。

低調な生産状況が続いていますが、乳製品需給としては、国家貿易による脱脂粉乳やバターの輸入・売渡しが適時適量実施（29年度：脱脂粉乳33.2千トン、バター9.1千トン）されたことで、乳製品の期末在庫は脱脂粉乳で5.8か月分、バターで3.8か月分と安全域で推移しています。しかし輸入バターには、荷姿や品質の面で市場とのミスマッチもあり、家庭用や洋菓子店での国産バタ

一へのニーズは依然として高く、生乳生産の早急な回復が待たれるところです。

また米国がTPP協定から離脱し、保護主義の通商政策を主張していますが、こうした米国の動きをけん制して、アジア各国からの新規加盟を加速させ、米国のTPP復帰を促す動きも見られます。TPP大筋合意の内容からは、国内乳製品需給への急激な影響を与えるような事態は想定されていませんが、加盟国の拡大や米国復帰の動きなど、貿易交渉の行方に注視が必要です。

また国内の人手不足の深刻化とともに、酪農経営の合理化・安定化を図ることは不可欠と言えますが、畜産クラスターなどの制度資金が後押しして、今年度の搾乳ロボット輸入台数は338台、前年比129%と大幅に拡大しました。ロボット搾乳システム（AMS）が急速に拡大する一方、AMS導入農家がシステムを適正に使いこなすため、酪農現場では技術的なフォローなどの対応が求められています。

こうした中、当協会では、今年2月に北海道帯広市において、ロボット搾乳システムを活用するための酪農経営セミナーを十勝乳牛検定組合連合会、十勝農業協同組合連合会などと共同開催しました。時代にマッチしたタイムリーな話題であり、AMSを活用している酪農家や、導入を模索していた酪農家約400名が参加し大盛況となりました。

1. 講演会の開催

日 時：平成30年2月7日（水）、8日（木）

両日とも10：30～15：00

場 所：ホテル日航ノースランド帯広

内 容：1日目：2月7日（水）

演題：自動搾乳システムの栄養とマネジメント

講師：William Woodley氏

2日目：2月8日（木）

演題：ロボット搾乳システムを成功するための管理とデザイン

講師：Jim Salfer氏

参加者：約400名（2日間）

共 催：十勝乳牛検定組合連合会、十勝管内農協畜産技術員研究会

十勝管内家畜人工授精師協会、十勝農業協同組合連合会

十勝乳質改善協議会、公益財団法人森永酪農振興協会

2. 庶務事項

年 月 日	内 容
H29.05.08	第19回理事会（書面決議）
05.24	第14回評議員会（書面決議）
05.29	第20回理事会
06.19	第15回評議員会
06.27	平成28年度事業報告等の提出 内閣府
H30.02.19	第21回理事会
03.09	第16回評議員会（書面決議）
03.23	平成30年度事業計画書等の提出 内閣府

3. 会 議

（1）第19回理事会

日 時 平成29年5月8日
議 案 1) 書面による評議員会開催の件
・評議員の補充選任の件
議 決 原案承認（書面による）

（2）第14回評議員会

日 時 平成29年5月24日
議 案 1) 評議員の補充選任の件
議 決 原案承認（書面による）

（3）第20回理事会

日 時 平成29年5月29日
議 案 1) 平成28年度事業報告及び決算書類の承認の件
2) 定時評議員会招集の件
議 決 原案承認
報告事項 1) 予算等に関する書面評議員会
2) 3月に受入れた寄附金
3) 評議員の補充選任

（4）第15回評議員会

日 時 平成29年6月19日
議 案 1) 平成28年度事業報告及び決算書類の承認の件
議 決 原案承認

- 報告事項 1) 第13回書面評議員会について
2) 第14回書面評議員会について

(5) 第21回理事会

- 日時 平成30年2月19日
議案 1) 創立50周年記念事業計画承認の件
2) 酪農振興基金一部取崩し承認の件
3) 平成30年度事業計画書及び収支予算書等承認の件
4) 書面による評議員会開催の件
議決 原案承認
報告事項 1) 平成29年度の事業活動報告

(6) 第16回評議員会

- 日時 平成30年3月9日
議案 1) 創立50周年記念事業計画承認の件
2) 酪農振興基金一部取崩し承認の件
3) 平成30年度事業計画書及び収支予算書等承認の件
議決 原案承認(書面による)

4. 附属明細書について

報告事項は特になし